大阪教育大学 環境報告書2021

Osaka Kyoiku University Environmental Report 2021



1	学長挨拶 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
2		2
	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって	<i>A</i>
3	環境マネジメント組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
4	大学概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	団地の所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 6 7
5	環境配慮実施計画(2020年度の実施計画及び評価)・・・・・・	}
	環境配慮実施計画(2021年度の目標)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
6	マテリアルバランス・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0
7	環境負荷データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
8	環境マネジメント活動の推進・・・・・・・・・・・・	4
	学内での取り組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15 大学生協での取り組み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19	5~18 7
9	第三者意見 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
0	環境報告書ガイドライン対応表 ・・・・・・・・・・ 21	

ĺ

学長挨拶

大阪教育大学は1874年の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史の中で、教員 養成を中心とした教育によって高い評価を受けてきました。とりわけ本学が重視し、 注力してきたことは、広い教養を背景とする高度な専門知識の習得と、教育現場を 中心とする様々な職業分野における実践力の養成です。その伝統に基づきつつ、長 年にわたり、教育界や社会に貢献する人材を数多く輩出してきました。

実践型の教員養成及び教育・学習支援分野への人材養成を使命とする本学におい て、どの分野においても、環境マインドを持った人材を養成することは非常に重要 な意義があります。本学の学生がここで学んだことを次の子供たちの世代へ伝えて いく、環境マインドを継承していくという好循環が実現することを願っています。 そのために、大学としては教育面や運営面において、ソフト・ハードともに、様々 なプログラムを実施していきたいと考えております。

さて、皆様ご承知のとおり、令和2年I月以降、世界中で新型コロナウイルスが 猛威を振るっています。本学でも、国内感染者が増え始めた2月中旬以降、さまざ まな対策を実施してきました。

感染症防止対策としては、手洗い・うがいの徹底、マスクの着用、換気の徹底、 各所消毒、3密回避、ソーシャルディスタンスなどの一般的な対策の他、本学独自 の活動基準の策定と周知徹底、入構規制・解除の段階的実施、感染防止MAPの周 知、オンライン会議、在宅勤務、時差出勤など様々な取組を行っています。また、 教育面における対策としては、家計急変により経済的に困難な状況に陥った学生・ 大学院生への経済的支援の他、オンライン授業を導入しました。特に緊急事態宣言 下において、本学初となるオンライン授業を急遽全面導入したということもあり、 学生・教員とも慣れておらず、多大なご負担をかけることになりました。しかしな がら、図らずも教育の情報化の一端を全ての学生・教員が経験できたことは、教育 大学として、たいへん大きな一歩になったと考えています。地球規模の大きな問題 に対して、一大学ができることは小さなことかもしれませんが、本学の学生・教職 員の皆様には、ぜひともそのような問題にも関心を持っていただき、本学において 環境マインドを培って頂くことを期待しています。

また、超スマート社会等の急速な社会の変化において,公教育が対応すべき教育 課題は複雑化・多様化しています。教員養成系大学として、これらに対応した教員 養成教育課程の編成に苦慮しています。一方,大阪市教育委員会は,現職教員の高 度化や研修システムの高度化、エビデンスを活用した教育政策の策定、職業として の教員の魅力発信といった課題を抱えています。

これらを背景として,教育委員会・学校現場・行 政・産業界・大学等が、それぞれ抱える課題(弱 み)や資源(強み)を一同に集積し、大きな成果を 生み出す仕組み(教員等育成に係る地域連携プラッ トフォーム)の拠点として「大阪アドバンスド・ ラーニング・センター」を本学天王寺キャンパスに 構築し, 教員の総合バックアップセンターとして, 大阪市から日本の教育を変えていく取組を進めてい ます。ステークホルダーの皆様には、これからも本 学へのご指導ご鞭撻をお願いいたします。



国立大学法人大阪教育大学長

環境方針

▲ 基本方針

大阪教育大学は、地球環境の保全が大きな問題であることを真摯に受け止め、教育研究及びあらゆる活動を通じて、地域を含めた良好なキャンパス環境の維持保全に努めます。

また、教員養成系大学として高い学識と豊かな教養をもち、環境問題に理解のある人材を育成します。このため、特に次の事項について推進して行きます。

- I. 省エネルギー、廃棄物の抑制、資源の再利用、環境汚染防止等全ての環境負荷の低減に継続的に取り組みます。
- 2. 美しく豊かなキャンパス環境の実現に向けた緑化整備、環境美化等について、全ての大学構成員の参加によるプログラムを推進します。
- 3. 環境に関する法令を遵守し、さらに自主管理規程を制定し、大学の社会的責任を果たします。
- 4. この基本方針を達成するため、環境配慮目標を設定し、環境情報を提供するなど、全ての大学構成員により、環境保全に取り組みます。
- 5. この方針は、BBS(電子掲示板)をもって全構成員に周知するとともにインターネットのホームページを用いて、広く社会に開示します。

2021年9月

国立大学法人大阪教育大学 学 長 栗 林 澄 夫

大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって

▲ 作成方針

「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律 (環境配慮促進法)」の施行により、2006年度より大阪教育大学では、環境報告書を作成、公表してまいりました。大阪教育大学は2004年4月に法人化し、国立大学の自律的な運営が求められる中、省エネの取り組み、古紙のリサイクル等環境負荷削減に取り組んでまいりましたが、なお一層の努力が必要であると考えております。大阪教育大学環境報告書2021は、本学の教職員、学生のみならず、本学の卒業生、0B・0G、本学への入学を希望されている方々、保護者及び近隣住民等のステークホルダーに対して、2020年度の大阪教育大学の環境についての現状を報告するものとして作成いたしました。

報告書の対象範囲

大阪教育大学柏原キャンパス

報告書の対象期間

令和2年度(2020年4月~2021年3月)

環境配慮実施計画の方針

2020年度に達成した環境配慮実施計画を踏襲し、より環境負荷の低いキャンパスを目指す。

参照ガイドライン等

- ●「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に 基づく「環境報告書の記載事項」
- 環境省「環境報告書の記載事項等の手引き」
- 環境省「環境報告ガイドライン (2018年版)」

発行年月

2021年9月

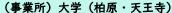
次回発行予定

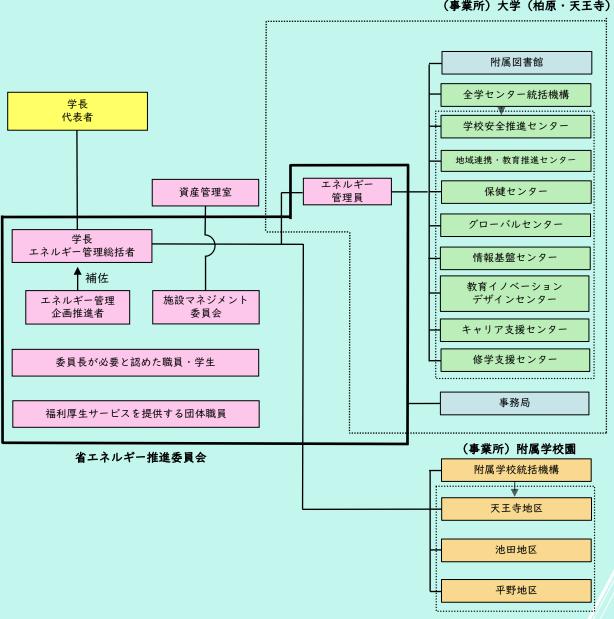
2022年9月

環境マネジメント組織

本学は、省エネルギー及び温室効果ガス排出抑制を着実に効果的に推進するため、学長のもと下図のようなエ ネルギー管理体制組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制を整備、運用しています。省エネルギー推進委員会に は、本学の学生や生協職員にも入ってもらい、オール大教大で取り組んでいます。

▼大阪教育大学エネルギー管理組織及び温室効果ガス排出抑制推進体制



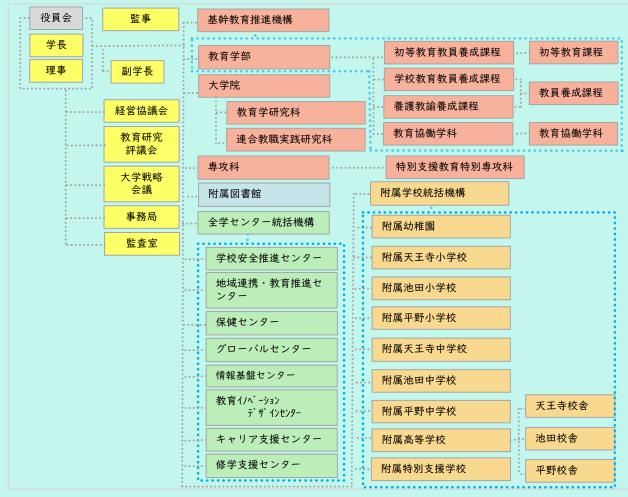


大学概要

大阪教育大学は、1874年(明治7年)5月の教員伝習所設立以来、140年を超える歴史と伝統を有する我が国有数の教育大学です。

現在の大阪教育大学は、大阪府柏原市の金剛生駒紀泉国定公園内に約67万m²のメインキャンパスを配置し、教員養成教育と教養教育を通じて有為な人材を輩出する一方、国際都市として交通アクセスはもとより情報・産業の中枢機能を有する大阪市内に天王寺キャンパスを擁しています。さらに大阪市天王寺区、阿倍野区、平野区及び大阪府池田市の3地区に初等・中等教育並びに特別支援教育に対応したIIの附属学校園を設置し、総合的な教育系大学をめざしています。

I. 組織



2. 職員数 (令和3年5月1日現在)

学長		教授	143
理事	5	准教授	82
監事	2	講師	23
合計	8	助教	2
		附属学校 教員	267
		事務系 職員	177

3. 学生数 外国人留学生は内数で記入 (令和3年5月1日現在)

■教育学部			
教員養成課程・教養学科・教育協働学科			
教員養成課程	2,458		
教養学科	35		
教育協働学科	1,453		
合計	3, 946		

第二部小学校教員養成	
I 年次入学	2
3年次編入学	7
合計	9
	/ '

■大学院

教育学研究科	134
連合教職実践研究科	233
特別支援教育特別専攻科	28

名意見 1 ガイドライン対応表

大阪教育大学各キャンパス



柏原キャンパス

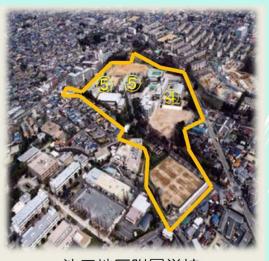


天王寺キャンパス (天王寺中学高等学校) (天王寺小学校)



平野地区附属学校 (②平野中学高等学校③幼稚園

⑥平野小学校) (特別支援学校)



池田地区附属学校 (④池田小学校⑤池田中学高等学校)

団地の所在地

柏原地区

1

柏原キャンパス

大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

天王寺地区

2

天王寺キャンパス

大阪市天王寺区南河堀町4-88 附属天王寺中学校·附属高等学校天王寺校舎 大阪市天王寺区南河堀町4-88

3

松崎町団地

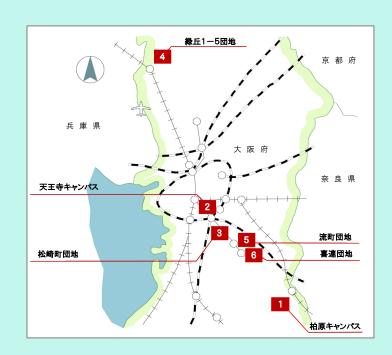
附属天王寺小学校 大阪市阿倍野区松崎町1-2-45

池田地区

4

緑丘1-5団地

附属池田小学校池田市緑丘I-5-2附属池田中学校池田市緑丘I-5-1附属高等学校池田校舎池田市緑丘I-5-1学校安全推進センター池田市緑丘I-2-10



平野地区

5

流町団地

附属幼稚園 大阪市平野区流町2-1-79 附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41

附属平野小学校 大阪市平野区流町1-6-41 附属平野中学校 大阪市平野区流町2-1-24 附属高等学校平野校舎 大阪市平野区流町2-1-24

6

附属特別支援学校

喜連団地

大阪市平野区喜連4-8-71

▼ キャンパスの特徴

大阪教育大学には柏原キャンパスの他、天王寺キャンパス及び口の附属学校園が設置されています。大阪市内の天王寺地区及び平野地区、大阪府北部の池田地区に分かれて置かれ、いずれも大学との連携のもと、教育研究・教育実践・教育実習の場として重要な役割を果たすとともに、それぞれ地区ごとに連絡進学をはじめさまざまな相互連携をとり、下記のような特徴を持っています。

1 t

柏原キャンパス

平成元年より天王寺、平野、池田より統合移転し、大学の本部を置くキャンパスです。

天王寺地区

教育学部初等教育教員養成課程(夜間コース)、教職実践研究科、大学院教育学研究科と附属天王寺 小学校、附属天王寺中学校・附属高等学校天王寺校舎を有するキャンパスで「基礎・基本の確かな育 成」「中高一貫教育の長い歴史」を目標にしています。

池田地区

附属池田小学校、附属池田中学校・附属高等学校池田校舎を有するキャンパスで「生きる力の育成・ 国際教育の基盤作り」「国際教育・国際理解教育と異文化交流」を目標にしています。

平野地区

附属幼稚園、附属平野小学校、附属平野中学校・附属高等学校平野校舎、附属特別支援学校を有する キャンパスで「相互連携した教育・研究」「5校園構想への取組みと異校種交流学習」を目標にして います。

柏原キャンパスマップ



大小の講義室、実験教室、情報処理実習室、CALL(コンピュータ支援語学学習)教室、ロッカールームの他に、外国語学習支援ルームやICT教育支援ルームがあります。



美術棟 (F棟)



主に教育協働学科の講義室、実習室、 主に教育養成課程の講義室、実習室、研究室などがあります。 熱いの場でお 研究室などがあります。 入試課はCI る「レモンルーム」や壁一面のホワイ 棟 I階にあります。 憩いの場であるトポードスペース「ガリレオボード」 「メロンルーム」や障がい学生修学支もあります。



工房棟(G棟)

絵画室、デザイン室、書道室、講義室、彫刻室、金工室、立体室、木工室、窯 実験実習室、講義室、セミナー室、研研究室などがあります。 工室、研究室等があります。 究室などがあります。





ツ棟(H棟)



約90万冊の資料が利用できる閲覧室 情報化の推進と情報システムの円滑な やアクティブラーニングが可能なまな 運用に、教育研究の発展に寄与するこ びのひろば・グループ学習室の他、授 とを目的としています。ネットワーク 乳室を設置しています。院生スタッフ、実習室、マルチメディア実習宝、オー による学習サポートも行っています。 プンLANスペース等があります。

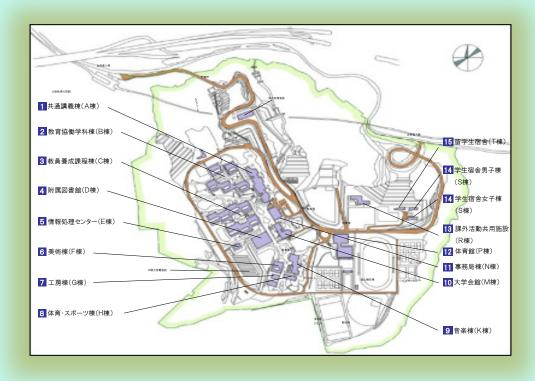


リハーサルホール、実習室、練習室、 講義室、研究室などがあります。





Dining TERRA、第二食堂、レストラン FORET、喫茶(SUN Cofe)、Shopアイ リス(書籍購買)などがあり、学生の 憩いの場となっています。









課外活動共用施設(R棟)



男子学生宿舎(収容定員60名)が1棟、 女子学生宿舎(収容定員80名)が1棟、 あり、留学生に居住の場を提供して あります。

14



留学生宿舎(T棟)

環境配慮実施計画 2020度の実施計画、評価

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制」「環境汚染防止」 「環境教育等の充実」「地域貢献」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めてきました。

省エネルギー・省資源の推進 (自己評価の●は計画達成、▲は一部達成、×は未達成を示します。)

項	目	実 施 計 画	自己評価
	・一使用量・ ・ガスの削減	■エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 ■旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 ■フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 ■教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新し、省エネに配慮した機器の導入を推進する。 ■掲示物等で省エネの啓発を行う。 ■構成員へ、省エネや空調簡易点検の協力依頼を行う。	•
水使用	月量の節減	■掲示物等で節水の啓発を行う。 ■トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。	•

廃棄物の抑制

一般廃棄物の排出抑制	■分別回収の徹底を強化する。 ■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。 ■掲示によるマナー啓発活動の展開をする。	•
日 料 伊 田 号 (7) 削 18	■用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。 ■学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。	•

環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	■学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。	•
実験廃棄物の廃棄	■大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等 取扱責任者の指導監督の下、廃棄処分する。	•
実験用劇物等の管理	■購入者がその都度、薬品名・薬品番号・購入単位・購入年月日・受入量・使用者を受払簿に記載する。■大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。■受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。■受払簿は使用する毎に記載する。	•

■ 環境教育等の充実

環境教育の充実	■教材園での栽培を通して、自然環境の大切さを学ばせる。	•
環境マインドの醸成	■大教大ecoウィークを行い、環境マインドの醸成を図る。	•

地域貢献

森林体験学習	■柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施 する。	• //
グリーンアドベンチャー (社団法人青少年交友協会)	■キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、 キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。 キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、 植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	
その他	■星空を観察するという身近な方法で大気の汚れを実感し、大気汚染問題に対して関心をもって頂くことを目的とした「星空の観察会」を実施する。 ■幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。	//•

学内美化

雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	■教職員と学生に道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。	•
植栽の剪定	■期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。	•

環境配慮実施計画 2021年度の実施計画

大阪教育大学の環境配慮の目標は、「省エネルギー・省資源の推進」「廃棄物の抑制・資源の再利用」「環 境汚染防止」「環境教育等の充実」「地域貢献」「学内美化」の項目を実施計画とし、進めて行きます。

→ 省エネルギー・省資源の推進

項	目	実 施 計 画
	一使用量・ ガスの削減	■エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量を関係法令等に従い削減する。 ■旧フロンガスを使用する機器、老朽化した空調機器を更新する際は、高効率機器の採用を推進する。 ■フロン法に基づき、点検を行い、空調の劣化を未然に防ぐ。 ■教室等の照明器具の更新を行う際は、LED化、高効率器具等への更新、省エネに配慮した機器の導入を推進する。 ■掲示物等で省エネの啓発を行う。
水使用量	計の節減	■掲示物等で節水の啓発を行う。 ■トイレ等の改修を行う際は、節水器具の導入を推進する。

■ 廃棄物の抑制・資源の再利用

	■分別回収の徹底を強化する。			
の広奏ものははなか	■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミを、削減するよう取り組む。			
一般廃棄物の排出抑制	■大学生協のランチボックス等をリサイクルする。また、プラスチックゴミを、削減するよう取り組む。 ■掲示によるマナー啓発活動の展開をする。			
	■最近の海洋汚染を考慮して、プラスチック製品から脱プラスチック製品への使用に切り替えを行い、SDGsに取り組む。			
2428-1411	■用紙の両面利用を推進し、使用量の節減を図る。			
用紙使用量の削減	■学内連絡や会議用資料の説明保存等を紙から電子記録媒体にする。			
排水量の削減	■生活排水の中水利用を行い、排水量の削減を図る。			

▼ 環境汚染防止

実験廃棄物等の管理	■学長統括の下、大阪教育大学実験廃棄物等管理委員会において適正管理する。
実験廃棄物の廃棄	■大阪教育大学実験廃棄物等取扱規程に基づき、実験廃棄物を排出する実験廃棄物等取扱者が、実験廃棄物等取扱責任者 の指導監督の下、廃棄処分する。
実験用劇物等の管理	 ■購入者がその都度、薬品名 ・ 薬品番号 ・ 購入単位 ・ 購入年月日・受入量 ・ 使用者を受払簿に記載する。 ■大量の物は屋外の鍵付き保管倉庫に、少量の物は屋内実験室等の鍵付き保管庫に保管する。 ■受払簿は保管庫倉庫内と保管庫内に保管する。 ■受払簿は使用する毎に記載する。

▼ 環境教育等の充実

環境マインドの醸成	■キャンパスクリーン等を行い、自分達を取り巻く環境を自分達の手で綺麗にすることにより、 環境マインドの醸成を図る。
-----------	--

→ 地域貢献

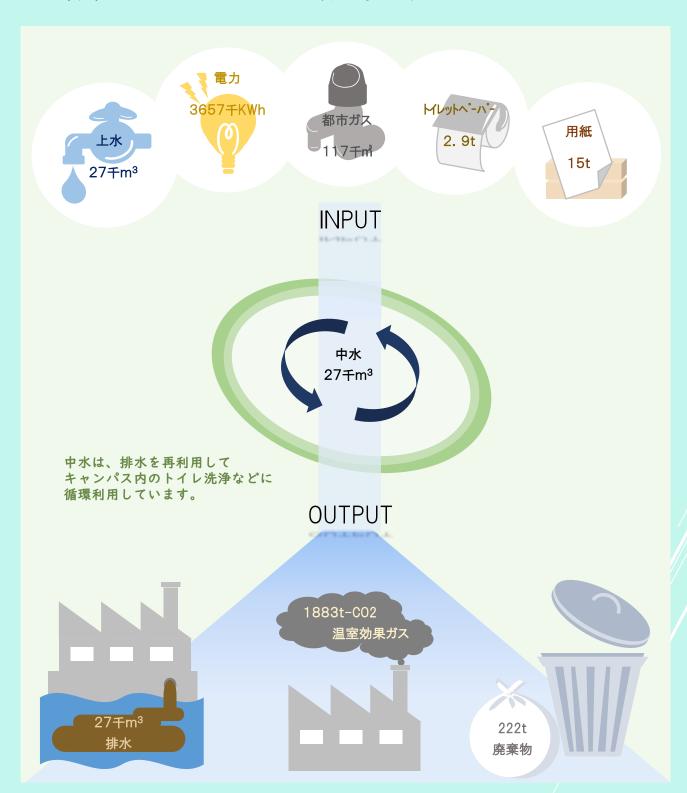
_ · U ·//> /////		_
森林体験学習	■新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りつつ柏原市との連携協定に基づく、近隣の小学生を対象とした 森林体験学習を本学学生ボランティアにより実施する。	
グリーンアドベンチャー (社団法人青少年交友協会)	■キャンパス内に設定されたコース上の植物の名前や生態を付設ボードのクイズを解きながら学習し、 キャンパスを廻る野外活動で近隣地域の住民にも開放する。 キャンパスの豊かな自然の中で自然に親しみ、 植物をとおして生命の尊さとそれを育む環境保全の大切さを体感させる。	
その他	■幼稚園の遠足及び国際フェスティバル等の場所を提供する。	

学内美化

T 313710	
雑草の刈り取りと ゴミの一斉収集	■キャンパスクリーン週間を設け、教職員等による一斉雑草刈りとゴミの収集を行い、環境美化を図る。 また、この週間中以外でも道具を貸し出し、有志で環境美化が実施できる対応とする。
植栽の剪定	■期日を決め定期的に剪定や草刈の実施をする。

マテリアルバランス

マテリアルバランスとは、大学の活動に伴う環境負荷の全体像で、大学の活動のために投入する資源等をINPUT、大学の活動結果排出する環境負荷をOUTPUTとして表したもので、2020年度の大阪教育大学柏原キャンパスのマテリアルバランスは下記の通りです。

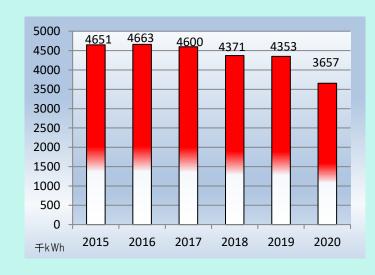


環境負荷データ

電力

- ●電力使用量削減のため、 全学的な省エネ活動を推進しています。
- ●2020年度は、2016年度より進めている空調 設備の更新による高効率化を行うと共に、 年間を通しての省エネ活動として、従来よ り実施している電力の平準化や節電等を実 施したことや、コロナ禍の影響により2019 年度に比べ、約16%の使用量削減となりま した。

※柏原キャンパスのデータ



都市ガス

- ●ガス使用量削減について、 全学的な省エネ活動を推進しています。
- ●2020年度は、2016年度より実施している空 調設備の更新による高効率化を行うと共に、 年間を通して省エネ活動を実施したことや、 コロナ禍 の影響により2019年度に比べ、約 35%の使用量削減となりました。

※柏原キャンパスのデータ



温室効果ガス

- ●温室効果ガス排出量削減に努めています。
- ●2020年度は、空調設備の更新による高効率 化を行うと共に、年間を通しての省エネ活 動として、電力の平準化や節電等を実した ことや、コロナ禍の影響により2019年度と 比べ、約17%の排出量削減となりました。

※柏原キャンパスのデータ CO2実排出量の係数は、2010年度~2015年度 の平均値としています。



環境負荷データ

上水

- ●節水対策により水の使用量削減に努めています。
- ●2020年度は、2014年度及び2015年度に行った トイレ改修により、手洗いの蛇口が節水型自 動水栓に改修を行ったことや、コロナ禍の影 響により2020年度は2019年度に比べ、約20% の使用量削減となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ



中水

- ●中水は排水を再生処理してキャンパス内で 再循環利用しています。
- ●2020年度は2019年度に比べ、約3.5%の使用 量削減となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ

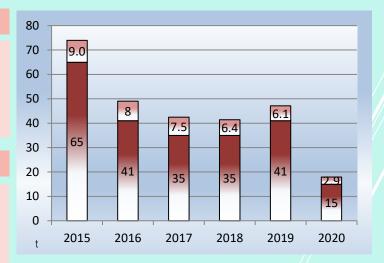


トイレットペーパー

- ●トイレットペーパーについては、便所改修に伴い洗浄便座を設置した効果およびコロナ禍の影響により、2020年度は2019年度に比べ、約53%の削減が見られます。
- ※柏原キャンパスのデータ

コピー用紙

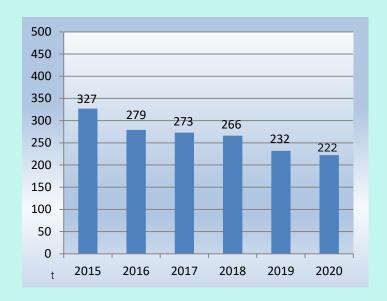
- ●コピー用紙については、学内グループウェアーによる通知文書の電子化や、電子会議の浸透ペーパーレス化およびコロナ禍の影響により、2020年度は2019年度に比べ、約36%の購入量となりました。
- ※柏原キャンパスのデータ

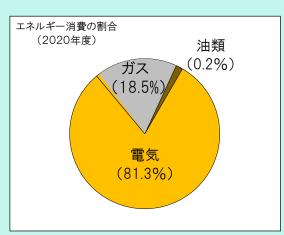


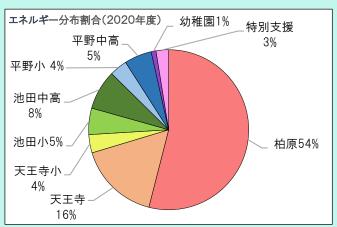
環境負荷データ

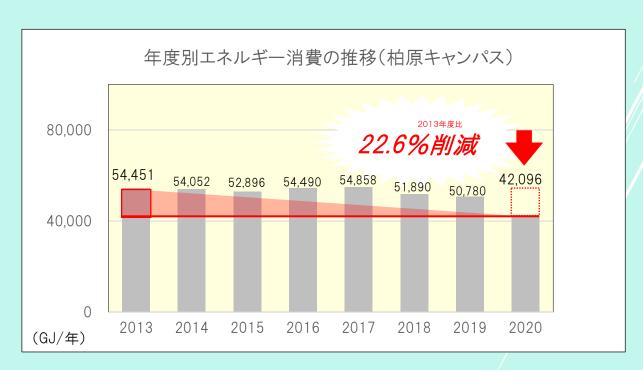
廃棄物排出量

- ●一般廃棄物、産業廃棄物の削減に努め適切な 処理を行っています。一般廃棄物について は、可燃物、缶類、ビン類等に分別し廃棄処 分を行っています。産業廃棄物については、 種類毎に回収し専門業者に処理の委託を行っ ています。(マニュフェストの義務化) また、特別管理産業廃棄物については、種類 毎に回収管理し、専門業者に廃棄の委託を 行っています。(マニュフェストの義務化)
- ●廃棄物については、削減に努めることにより 徐々に量を減じることができ、2019年度か ら2020年度は約4%の削減結果となりました。 廃棄物は全て「廃棄物処理法」に基づき適正 な処理を行っています。
 - ※産業廃棄物は主に金属くず、木くず、廃プ ラスチック等を破砕した体積で、重量に換算 しています。









環境マネジメント活動の推進 環境保全活動の状況

● 一斉クリーンデーの実施について

柏原キャンパスでは、一斉クリーンデーとして、キャンパス 内の草刈りやごみ拾いなどの作業を行いました。

令和2年度は、9月16日(水)に実施し、主に草木の刈り込み、 ゴミ拾い・清掃などを行い、見違えるほどきれいになりました。



●清掃の様子





●草の刈り取りの様子



●草の刈り取りの様子

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

▼花で笑顔に(花壇の整備)

理科教育専攻卒業生の記念植樹がある築山やその近くに施されている植栽の周辺を整備し、一部を花壇にしました。長年、雑草で覆われ、また、コロナ禍で人通りが減少したためかイノシシの攪乱が目立ち、景観を損ねていたためです。この築山は、オープンキャンパス時に理科教育コースの説明会で使用する教室からよく見渡せるため、まずはオープンキャンパスに向けてヒマワリを植えました。昨年度のオープンキャンパスは、対面での実施が叶いませんでしたが、オンライン説明会でのプレゼン資料の背景に、ヒマワリの成長過程の動画を配置するなどして、活用することができました。

さらに、対面授業が始まる10月に向けミニヒマワリとコスモスを、花が少なくなる冬にはパンジーやビオラを、新入生が入学する4月に向けネモフィラやチューリップなどを植えました。期待通り、4月には見事なブルーのネモフィラ畑で新入生を迎えることができました。また、興味を持った人のために、花の名前を書いたプレートを配置しました。それぞれの花が見頃の時期には花壇の前で足を止め、プレートを確認しながら鑑賞する学生や教職員の姿が見られます。この夏もヒマワリ、コスモスの他、アサガオ、ケイトウなどが、通りゆく人の目を楽しませています。



令和2年5月 整備前の築山 記念植樹のシダレザクラの姿が見ら れないほどに雑草が生い茂っていた。



令和2年9月 満開のミニヒマワリと咲き始めたコスモス



令和2年7月 空に向いて咲くヒマワリの花



令和3年3月 咲き始めのネモフィラ 手前はパンジー, ビオラ, サクラソウ, 奥で記念植樹 のシダレザクラが咲いている。



令和3年4月 見事に咲き誇るネモフィラ

環境負荷デ

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

■ 附属平小がクラウドファンディング活用で校内の池を復活 ほたる鑑賞会を開催

本学附属平野小学校が,ほたるの鑑賞会を開催しました。7月9日(木),10日(金),13 (月),14(火)の4日間,整備された新しい「ほたる池」では,ほたるの優しい光が招待客らを迎えました。

文部科学省研究開発学校として、新教科「未来そうぞう科」の研究開発を実施している同小学校では、この教科の一環で、校内にある手つかずの池を復活させてほたるの棲める環境に戻す取り組みを1年以上前から進めてきました。

プロジェクト名は、「ほたる池復活プロジェクト~121期生の挑戦~」。現在6年生の児童らは、5年生のときから、池を整備する作業にあたるほか、ほたるが実際に棲む環境を見学に行ったり、資料館の方に専門的なアドバイスを頂いたりと精力的に活動してきました。

その後、池の水を循環させる手製のろ過機などを作るための道具や材料、生き物の購入など、資金面の壁が立ちはだかり、これを解決するためにクラウドファンディングでの資金を集めに挑戦。このプロジェクトを支えてきた6年生担当の教員のうちの一人で今回、このクラウドファンディングのプロジェクトリーダーを務めた東亮多教諭は、「3月から4月にかけて実施しましたが、寄附額は目標額を大きく上回り達成しました。コロナ禍の休校で大好きな学校へ通うことが出来ず、またこのプロジェクトの活動の停滞も心配していた児童たちにとって、クラウドファンディングは、インターネット上で自分たちの目標や活動を広く社会に発信し、それが広く社会から共感やサポートを受けるという新たな経験をするとともに大きな希望となりました」と振り返りました。

今回の鑑賞会はクラウドファンディングの寄附者返礼の一つとして実施したものです。児童らはこれまでの活動記録の掲示や、マスコットキャラクターをあしらった手作りのお土産を用意して備え、鑑賞会の期間中は運営側として受付や案内などの役割にあたりました。I、2日目担当の児童が3、4日目児童へ引き継ぎやアドバイスを行う姿もみられました。

東教諭は、「児童たちは、翌日の引継ぎをきちんと行うなど、より良い鑑賞会になるように頑張りました。天候も心配しましたがどの日にもほたるの光を見ることが出来、子どもたちの努力の成果が報われた結果となりました。児童らは鑑賞会の後もほたるがたまごを産み、幼虫が孵化し、生命が続いていくことに着目しています。ですから、プロジェクトのゴールを鑑賞会ではなく、『この取り組みが続いていくこと』としました。そうなるために、これからどのようなことが必要か、一緒に考え学習を進めていきたいと思います」と感想と抱負を語りました。



鑑賞会当日 ほたる池(写真左奥) 白い囲いの中でほたるが舞った



ほたる池へ続くアプローチも 児童らが整備



整備当初のほたる池



ほたるの専門家から 直接話を聞いて学ぶ

3

環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

■ 授業中の換気のタイミングを知らせるチャイムを導入

新型コロナウイルス感染症対策として、授業中の換気のタイミングを知らせるチャイムを柏原キャンパスに導入し、チャイムの鳴動に合わせて講義室等の窓や扉を開けるよう促す取組を12月3日(木)から実施しました。

本学では、講義室に設置している換気扇による機械換気と併せて、授業時間90分のうち1回以上の窓開けによる換気の実施を授業担当教員に要請しています。気温が下がる12月から2月の期間において、この取組を徹底するためにチャイムを導入しました。

チャイムの導入当日,「臨床医科学II」の授業では,養護教育部門の平田久美子教授から,今回の取組の趣旨とチャイムが鳴ったら窓や扉を開けて換気をするよう学生に説明がありました。その後,授業開始後45分が経過した際に13秒程度のチャイムが鳴り,窓際の座席で受講していた学生たちは一斉に窓を開け,講義室内の空気の換気に取り組みました。

本学の講義室は全室換気扇が設置されており、政府が提唱する「機械換気による常時換気」の条件は満たしていますが、この取組は定期的な窓開け換気の両方を運用することで、授業中の新型コロナウイルス感染症の感染リスクを低減するねらいがあります。



授業の冒頭でチャイムについて 説明する平田教授



チャイムの鳴動に合わせて 一斉に換気を行う学生

9

第三者意見

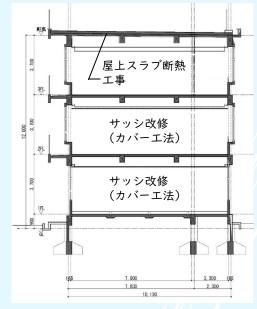
環境マネジメント活動の推進 学内での取り組み

▼ (平野地区)附属小学校校舎改修

(平野地区) 附属小学校は建設後50年以上が経過した建物で、老朽化が著しく、早急に学習環境の改善を行うため、平成31年度に第 I 期目の改修工事を実施しました。

● 改修内容

- ●附属小学校校舎4,910㎡のうち、1階から3階 2,410㎡ (普通教室6室、特別教室7部屋を含む)を改修。
- ●環境や省エネルギーに配慮し、教室等の床については木材を使用し、照明器具はLED化を図り空調設備においても高効率機種を採用しています。
- ●老朽化した外部建具をカバー工法で改修すること による建物の気密性の向上、屋上スラブ断熱材の 吹付け、省エネルギーへ貢献する仕様としました。



● 省エネルギーへの効果

●温室効果ガスの年間削減予測

20.72+-C02/年



●屋上スラブ断熱工事



●カバー工法による外部建具改修



●改修後



●改修後

S

9

環境マネジメント活動の推進 大学生協での取り組み

【大阪教育大学生協の省エネルギーに関わる取組み】

機器類の入替に際しては、省エネタイプの導入を意識し、また、日常からの店舗運営においてチェックリストによる省エネ活動を継続して行っています。

[チェックリスト]

■空調関係

- ・ [夏季冷房時] 室温設定は25度(食品を扱っているため特別)(1度で10%の削減)
- ・ [冬季暖房時] 室温設定は19度
- ・「冬季暖房時] 営業時間終了後は速やかにエアコンをOFFする(止めても30分くらいは温かい)
- ・室内フィルターの定期清掃実施(2週間に1回)(5%削減)
- ・運転中はドアの開け放しをしない(昼ピークを除く)(10%削減) →全員が気をつける ←コロナ禍中3密対策の換気の為、当面休止
- ・残業時は必要箇所のみ運転
- ・ [アイリス・総務] 服装はクールビズで(カーディガンは着ない)

■照明関係

- ・残業時は必要箇所のみ点灯
- ・ビジネスアワーでも不要部分は消灯(誰も居ない更衣室、事務室等)
- · [食堂共通] 昼間の営業は、外光を考慮して、OnOffを意識
- ・[食堂共通]開店時間以前のホール照明消灯。開店時刻になってから点灯
- ・ [食堂共通] オーダーストップから30分後めやすにホール照明消灯

■パソコン・事務機器

- ・離席時、パソコンディスプレイは電源をOff
- ・ノートパソコンはシャットダウン後、ACアダプターを抜く
- ・パソコンを長時間(90分以上)使用しないときは、シャットダウン
- ・その他、長時間使用しない機器はコンセントからプラグを抜く

■その他

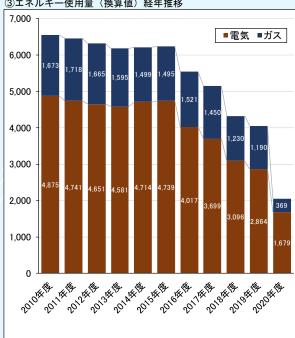
- ・ [食堂共通] 冷蔵庫・ダクトのフィルター定期清掃
- ・ [アイリス] 冷蔵ショーケースフィルター、ハニカムの定期清掃
- ・エレベーターの使用は必要最小限にする(台車等の移送以外は原則使用しない)
- ・ダムウェーター(荷物用リフト)も可能な限り効率的に使用する

①年間ガス使用量 (m) ③エネルギー使用量 (換算値) 経年推移

<u> ①平向カス関用里(III)</u>					
	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー 換算
2010年度	8,210	28,965	0	37,175	1,673
2011年度	6,794	31,388	0	38,182	1,718
2012年度	7,376	29,615	0	36,991	1,665
2013年度	6,703	28,749	0	35,452	1,595
2014年度	4,406	28,893	0	33,299	1,499
2015年度	3,976	29,254	0	33,230	1,495
2016年度	5,030	28,773	0	33,803	1,521
2017年度	5,310	26,904	0	32,214	1,450
2018年度	4,491	22,832	0	27,323	1,230
2019年度	4,662	21,779	0	26,441	1,190
2020年度	3,254	4,941	0	8,195	369

②年間	電気使用量	(kwh)

	購買	食堂	自販機	生協合計	エネルギー 換算
2010年度	131,900	305,000	62,600	499,500	4,875
2011年度	138,655	284,498	62,586	485,739	4,741
2012年度	144,631	278,333	53,629	476,593	4,651
2013年度	134,639	284,340	50,410	469,389	4,581
2014年度	147,209	287,748	48,078	483,035	4,714
2015年度	148,363	288,781	48,432	485,576	4,739
2016年度	128,158	237,856	45,565	411,579	4,017
2017年度	119,224	207,109	52,621	378,954	3,699
2018年度	119,473	196,807	896	317,176	3,096
2019年度	117,355	175,289	804	293,448	2,864
2020年度	90,620	81,225	145	171,990	1,679



コロナ禍の影響で、2020年度は2019年度に 比べ約49%の削減となっています。

第三者意見

▼ 第三者との意見交換会

まちづくりに関する提案や建築設計を手がける内藤建築事務所に、本学の「環境報告書2021」の作成にあたり、ご意見を伺いました。当環境報告書に反映できる点は改善し、その他の意見は来年度の環境報告書の作成の参考にしていきます。

主な意見	回答
● 全体 ・どこかでSDGsとの関連を述べてもよい。2021年度の計画・目標の中で「海洋汚染」について触れているので、SDGsの「I4.海の豊かさを守ろう」にリンクすると思われる。	9ページ「廃棄物の抑制・資源の再利用」の項目に SDGsとの関連を追記しました。
● 2ページ 「大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって」で2020年 度の総括とそれを受けた上での2021年度の計画・目標設定に ついての言及が必要。	2ページ「大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって」の項目に「環境配慮実施計画の方針」を追記しました。
● 8,9ページ 2ページ目の基本方針には「資源の再利用」とあるため、このページでは「廃棄物の抑制・資源の再利用」とした方が良い。「廃棄物の抑制・資源の再利用」の表に追加で10ページ目の中水利用のことも明記してはどうか。 環境配慮実施計画の「喫煙対策」の項目が表にはない。	9ページ「廃棄物の抑制」を「廃棄物の抑制・資源の再利用」としました。 9ページ「廃棄物の抑制・資源の再利用」の項目に排水量の削減を追記しました。 8.9ページ「喫煙対策」について敷地内は全面禁煙のため削除しました。
● 9ページ 「森林体験学習」「星空観察会」については新型コロナ感染が 懸念されるため、一言ふれておいた方が良い。	9ページ「森林体験学習」「星空観察会」について新型コロナウイルスの感染拡大防止を図っていることを 追記しました。
● 21ページ 「グリーン購入・調達」について本文には記載が無いが 環境報告ガイドラインとの対応一覧表に項目がある。	2 ページ4.4.(2)「グリーン購入・調達」の項目を 修正しました。

ご協力いただきましてありがとうございました。



環境省 「環境報告ガイドライン(2018年版)」との対応一覧表

環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」	大阪教育大学 環境報告書2021
環境報告の基本的事項	- へいん3人 G ハコ ~水が取り目 E 2021
1. 報告にあたっての基本的要件	_
(1)対象組織の範囲・対象期間	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(2)対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(3) 報告方針	大阪教育大学環境報告書2021の作成にあたって
(4) 公表媒体の方針等	裏表紙
2. 経営責任者の緒言	学長挨拶
3. 環境報告の概要	- CIXIV
(1) 環境配慮経営等の概要	大学概要
(2) KPIの時系列一覧	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
4. マテリアルバランス	マテリアルバランス
「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標	-
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	_
(1)環境配慮の方針	環境方針
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	環境配慮実施計画
2. 組織体制及びガバナンスの状況	-
(1) 環境配慮経営の組織体制等	環境マネジメント組織
(2) 環境リスクマネジメント体制	環境マネジメント組織
(3)環境に関する規制等の遵守状況	環境マネジメント組織
3. ステークホルダーへの対応の状況	—
(1) ステークホルダーへの対応	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み
	環境マネジメント活動の推進 ・地域社会への取り組み
(2)環境に関する社会貢献活動等	環境マネジメント活動の推進 ・学生の取り組み
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	-
(2)グリーン購入・調達	-
(3)環境負荷低減に資する製品・サービス等	環境マネジメント活動の推進 ·環境教育・研究の取り組み ·学内での取り組み
(4) 環境関連の新技術・研究開発	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み ・学内での取り組み
(7)環境に配慮した廃棄物処理/リサイクル	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標	-
I. 資源・エネルギーの投入状況	-
(1)総エネルギー投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(2)総物質投入量及びその低減対策	環境負荷データ
(3)水資源投入量及びその低減対策	環境負荷データ
2. 資源等の循環的利用の状況(事業エリア内)	環境マネジメント活動の推進 ・学内での取り組み
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	-
(2)温室効果ガスの排出量及びその低減対策	環境負荷データ
(3)総排水量及びその低減対策	環境負荷データ
(6)廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	環境負荷データ
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境保全活動の取り組み
環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標	-
Ⅰ.環境配慮経営の経済的側面に関する状況	-
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	環境マネジメント活動の推進 ・環境教育・研究の取り組み
の他の記載事項等	-
1. 後発事象等	-
2. 環境情報の第三者審査等	第三者意見

編集チーム

課 長課長代理		杉本厚二 西本正信
企画係	係 長専門職員	岡田稔徳 八杉幸則 宮崎圭子 西川由美子
建築係	係 主 主 任	大髙史彦 薮内君予 伴海和彦
設備係	係 主 事	谷口法敏 堀内保彦 丸山辰伺



大阪教育大学は、この自然に囲まれたキャンパスの立地環境を活用し、 生きた教材として、優れた環境人材の創出を目指します。本学の学生・ 教職員の環境への取り組みにご理解いただき、ご指導、ご支援をお願い いたします。

環境報告書ホームページ https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/joho/houtei/



お問い合わせ先

国立大学法人 大阪教育大学 総務部施設課企画係

電 話: 072-978-3333 FAX: 072-978-3345

MAIL: sisetuka@bur.osaka-kyoiku,ac.jp

URL: http://osaka-kyoiku.ac.jp/